

令和3年第8回
総務文教常任委員会

所管事務調査報告

期 日:令和3年11月30日(火)
10:00~11:20

調査内容:令和3年度所管事務調査

(1)県北中学校のタブレット等 ICT 活用による授業
及び学校施設の視察について

出席者:総務文教常任委員5名、傍聴議員3名
説明者:学校教育課長、係員、県北中学校長、教頭

国見町議会

ページ

八島博正委員長……………	3
浅野富男委員……………	4
松浦常雄委員……………	6
穴戸武志委員……………	9
蒲倉孝委員……………	10

令和3年第8回総務文教常任委員会
所管事務調査報告書

令和3年12月7日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 八島博正

【内容】

- 1) 中学校における ICT 機器の導入状況と活用状況
 - 2) 教育現場の授業視察
- 以上の目的で中学校訪問。
- (イ) まず、教育次長より GIGA スクール事業についての説明。
 - (ロ) ICT 活用環境整備業務で、端末機 225 台導入。1,384 万円の事業費。
 - (ハ) 学習ソフト導入。557 万円の事業費、他。
 - (ニ) 学校施設環境改善事業
 - ・エアコン導入 ・トイレの洋式化 ・火災報知機改修工事
 - (ホ) コロナウイルス感染拡大防止事業
 - ・網戸設置 ・水道蛇口レバー交換 ・換気扇取り付け
 - (ヘ) 災害復旧事業

【感想】

○授業視察

1年1組「数学」図形について 2階 ICT ルーム

- ・タブレットを使い授業を行っていたが、私の想像以上の内容である。
- ・タブレットは私の考えていたものより、小型で、しかもその性能の高さには驚いた。
- ・先生が補助を含めて2人で教えていた。全員に理解させるために補助する先生も必要であると思われた。

以上

令和3年第3回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和3年12月6日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 浅野富男

【調査内容】

新型コロナウイルスの感染拡大が少し落ち着いた中であって、久方ぶりの中学校訪問となった。始めに教育委員会よりGIGAスクール構想により令和元年からタブレットなど機器導入までの経過について説明があった。実施までには校内無線LAN、ICT活用にかかる環境の整備として端末機、学級支援ソフトの導入、続いて学習ソフトウェアの導入、大型ディスプレイ、Wi-Fi設備や各家庭とを結ぶオンラインのテストと、実用までに29,556千円と2年越しの時間がかかっていることになる。

学校施設の整備については、これまでに空調設備のエアコン、トイレの洋式化、自動火災報知機の改修が行われた。

また令和3年3月の地震により校舎壁面の亀裂や天井のズレ、体育館の天井落下の被害があり、復旧には2,750千円を要したとのことである。

この他に新型コロナウイルス感染防止のための整備として網戸100枚を設置、水道蛇口のレバー式への交換113箇所、普通教室12室への換気扇の取り付けなど総額4,486千円がかかったことが報告された。

この後は阿部校長先生の他お二人の先生の案内で、校舎の改修された箇所などの説明を受けながら校舎を移動、大型提示装置のある教室に入り、新しい授業の形でもあるタブレットを活用した授業について視察した。

【感想】

情報機器の発達、通信技術、より使い易くなどその進歩の速さは目まぐるしいものがある。デジタルは既に理論としては確立されていたものだそうであるが、それが現代に於いてやっと実用化できるようになった事になる。人類の知恵によって手に入れた高度な科学技術である。参観に入った教室は数学の授業であり、図形に関する内容であった。タブレットの使用は一部分であるとの事前の説明があったが、始めのうちは「黒板にチョーク」という形で進められていた。生徒の思考、論理の展開などを学ぶには、やはりこの方法となるのかと感心した次第である。タブレットの活用では授業の課題に対するまとめを動画にして覚えようということで閉められたが、なぜここで

使うの？が小生の疑問である。要学習か。

デジタルは社会の発展には必要不可欠なものとなっていくが、新しい技術は良くも悪くも発展していく。人々に幸せをもたらすよう活用されねばならない。

以 上

令和3年第8回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和3年12月6日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町副議長 松浦常雄

1. 視察の目的、日時、出席者

- (1)目的:①GIGAスクール構想による県北中学校におけるICT(情報通信技術)機器の導入状況、教育現場での活用状況の視察。
②学校施設等の視察(コロナ対策や災害復旧等も含め、教育環境向上事業)

2. 授業視察の内容(1年1組「数学」2階ICTルーム)

コンパスを使って角を2等分する作図の学習。作図をしている級友の様子を隣の生徒が端末機で動画に撮り、教師のパソコンに送信するところを見学した。教師の側では、すべての生徒の学習状況を画面で確認できるので、生徒のつまずきを見つけ、個別指導に生かすことができる。生徒が端末機の操作を理解し、学習に活用していることがわかった。

3. GIGAスクール事業関係(教育次長の説明)

- 校内LAN配線整備 令和2年12月完了 事業費9,208千円
- 国見町ICT活用環境整備業務
iPad端末機225台導入,管理用端末機,学級支援ソフト等の導入
令和3年6月完了 事業費13,843千円(補助役50%,特別交付金)
- 国見町ICT活用環境整備学習ソフトウェア導入業務
学習ソフトの導入 令和3年6月完了 事業費5,575千円(特別交付金)
- 大型提示装置の導入
提示装置3器導入 事業費930千円(学校保健特別対策事業費補助金)
- Wi-Fiネットワーク調査 10月23日(生徒の家庭にWi-Fiがあり端末機を使用できるかの調査。)
- オンラインテスト 11月12日(月)各家庭と学校で映像と音声の双方向確認

4. 教育環境整備事業関係(主な事業)(羽根教育次長)

(1)学校施設環境改善事業

- ① 特別教室等空調設備エアコン(7 教室)(平成 30 年度冷房設備対応臨時特別交付 金事業) 事業費33,242千円 普通教室には、平成 24 年度に配備
- ② トイレ洋式化改修工事 和式トイレ 23 箇所を洋式へ変更. 中学校は、大便器はすべて洋式 令和 2 年 12 月完了 事業費11,629千円(補助1/3)
- ③ 自動火災報知設備改修工事 令和 3 年 10月完了 事業費8,558千円(補助1/3)

(2)新型コロナウイルス感染拡大防止貸先事業

- ① 県北中学校網戸設置工事(令和 2 年度学校施設環境改善交付金事業) 自動火災報知設備の受信機複合盤一式、発信器 12 台、感知器 136 個の更新 令和 3 年 10月完了 事業費 8,558 千円((補助 1/3残財源対策債)

(3)新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業

- ① 県北中学校網戸設置工事 事業費1,797千円 100 カ所に網戸設置
- ② 県北中学校水道蛇口レバー式交換事業 事業費 759 千円 中学校 113 カ所に設置している水道蛇口を手回し式からレバー式に交換。
- ③ 県北中学校普通教室換気扇取り付け工事(学校保健特別対策事業費補助金) 事業費1,930千円 普通教室 12 教室に換気扇を新設

(4)災害復旧事業

- ① 令和2・3年度福島県沖地震災害復旧事業県北中学校校舎災害復旧工事 事業費2,750 千円 校舎壁面の亀裂、天井のズレ、体育館棟天井落下 災害復旧補助1,865千円

5. 調査の結果

(1)GIGAスクール事業による、中学校におけるICT機器の導入状況、教育現場での活用状況について

- ① ICT機器を活用した授業で生徒が端末機を操作し、作図している級友の動画を教師のパソコンに送信していた。教師のパソコンでは生徒全員の画像が見えるので、教師は一人一人の学習状況を把握できる。個別指導に生かせる。

生徒が端末機の操作を理解し、活用できていることがわかった。

教師の学習指導法、及び、生徒の学習方法が変わって来ているので、今後教師のICT機器を活用した授業のあり方、指導法の研究・研修が重要である。

- ② GIGAスクール事業については、かなり努力を傾けて推進してきたことが

うかがわれた。

(2)教育環境整備事業について

- ① 特別教室への空調設備エアコン、トイレの洋式化、新型コロナウイルス対策としての水道蛇口レバー交換、地震による校舎の災害復旧事業への取り組みなど多岐にわたり施設の整備改善に務めてきたこと、及び、児童生徒の安全、適切な学習、生活環境への配慮がうかがわれた。

以 上

令和3年第8回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和3年11月30日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 穴戸武志

【内容】

1. 当町中学校でもタブレット端末が一人1台配置された。
2. 授業風景から見ると未だ十分使いこなせていないように見えた。導入に時間が経っていないことが大きな原因と考える。生徒たちはゲーム・スマホ等で端末操作は慣れている。先生方の指導いかにかかっている。大いに期待したい。
3. 学校施設は冷房・洋式トイレ等整備されている。端末授業に欠かせない大きなモニター等の設備が不十分な気がした。整備が必要なところは早急に整備すべきである。ベストなコンディションで最高の授業を受けていただきたい。国見の未来を背負う青年たちだから。

【感想】

GIGA スクール～学校・教育委員会でICT教育のグランドデザインを是非作成して欲しい。グランドデザインを作成することにより、GIGA スクールの目的・目指す方向が明白になってくる。生徒・先生・父兄・教育委員会がお互いに共有することにより、効果は何倍にもなる。グランドデザインを町民の皆様にも示す必要がある。是非ともお願いしたい。簡単なグランドデザインでいい。ICT教育で成功しているところはグランドデザインを作成している。現在、取組みを見ると成果をあげているところとあまり成果が上がっていないところが二分されている。必ず成果をあげるという意気込みも必要である。

以上

令和3年第8回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和3年12月6日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 蒲倉 孝

【調査目的】

- ① GIGA スクール構想による、中学校における ICT(情報通信技術)機器の導入状況、教育現場での活用状況の視察。
- ② 学校施設等の視察。
(コロナ対策や災害復旧等も含め、教育環境向上事業)

【授業視察】 1年1組「数学」 2階 ICT ルーム

- 先生がタブレットを使用し、図形の説明を行い生徒は「紙ベース」で記入
- 全生徒は問題に対し、答えをタブレット使用し大画面で共有出来ている
- まとめは、図形の説明を「動画で撮影」し、端末で共有している

【施設視察】

- 2階 第2理科室 ⇒ コロナウイルス「換気対策」で網戸の設置(100箇所)
- 他「コロナウイルス対策」は、水道蛇口のレバー化／換気扇の設置
- 教育環境向上事業
 - ① 特別教室のエアコン設置(7教室)
 - ② トイレの洋式化 ⇒ 23箇所全てを洋式(小学校は学習のため4個和式)
 - ③ 自動火災報知設備の改善工事
- 災害復旧事業
 - ① 校舎壁面の亀裂、天井のズレ、体育館棟天井落下の復旧工事

【所感】

- ・ デジタルとアナログを場面に併せて活用されており、従来の教育もそのまま行えている点が素晴らしい。誰がどのような答えを出したか、端末で共有出来るのは生徒も先生も学習力向上や理解力の確認に繋がると感じた。

- ・ 今後、タブレットの「ID・PW」を個々に取得した場合、セキュリティの問題が残るので、改善および対策は必要になると思う。

以 上